

インド「よいとまけ」物語 29

2月12日

整地は完了です。Hpの敷地と同じ高さになりました。先ずは安心です。

入口ドアと窓の取り付けにきました。何事もインドでは大胆ですね。日本の職人が見たらどうでしょうか。



窓枠です。



四隅はドリルで穴あけし
固定は「竹釘」です。



カンナは右側に押します。右の子供が
引っ張ります。子供は12歳です。



見ての通りです。



上の写真はノコギリ。



日本の鋸の刃は「ㄨ」こうなって
居ませんか。インドは一直線だ。
目立ても三角のヤスリで簡単に
終わっています。日本は面倒で
ディスポの刃に頼り勝ちです。
日本でも目立てをやりましたが、
もう、やる気には成れません。

2月13日

昨日の夜23時まで窓付けをやっていました。

今日は12歳の子供も仕事でした。今日の朝、親指に包帯をしていました。聞いたら、切った、と言ってました。

可哀想に、夜中まで働き疲れたのでしょう。

1時にHpを出発し、JICAの佐々木さんを迎えに、ゴラクプールまで行きました。



院内くまなく、Drが案内してくれました。

佐々木さんもメモを取りながら、質問もされていました。

ホールにも行かれ、熱心に見学されました。

案内後は、Drの部屋でニディヒさんとアカシュが
歓待してくれました。

明日は4時に起き、柴田先生のお向かいです。

バナラシまで6時間掛かるそうです。大きいですねインドは。